平成２６年度第２回
函館市生活交通協議会資料

資料－１　　旧函館市地域の公共交通路線再編案について

資料－２　　東部４地域の公共交通路線再編案について
（参考）東部４地域の公共交通の現状
東部４地域の函館バス乗車人数

資料－３　　交通結節点整備案について

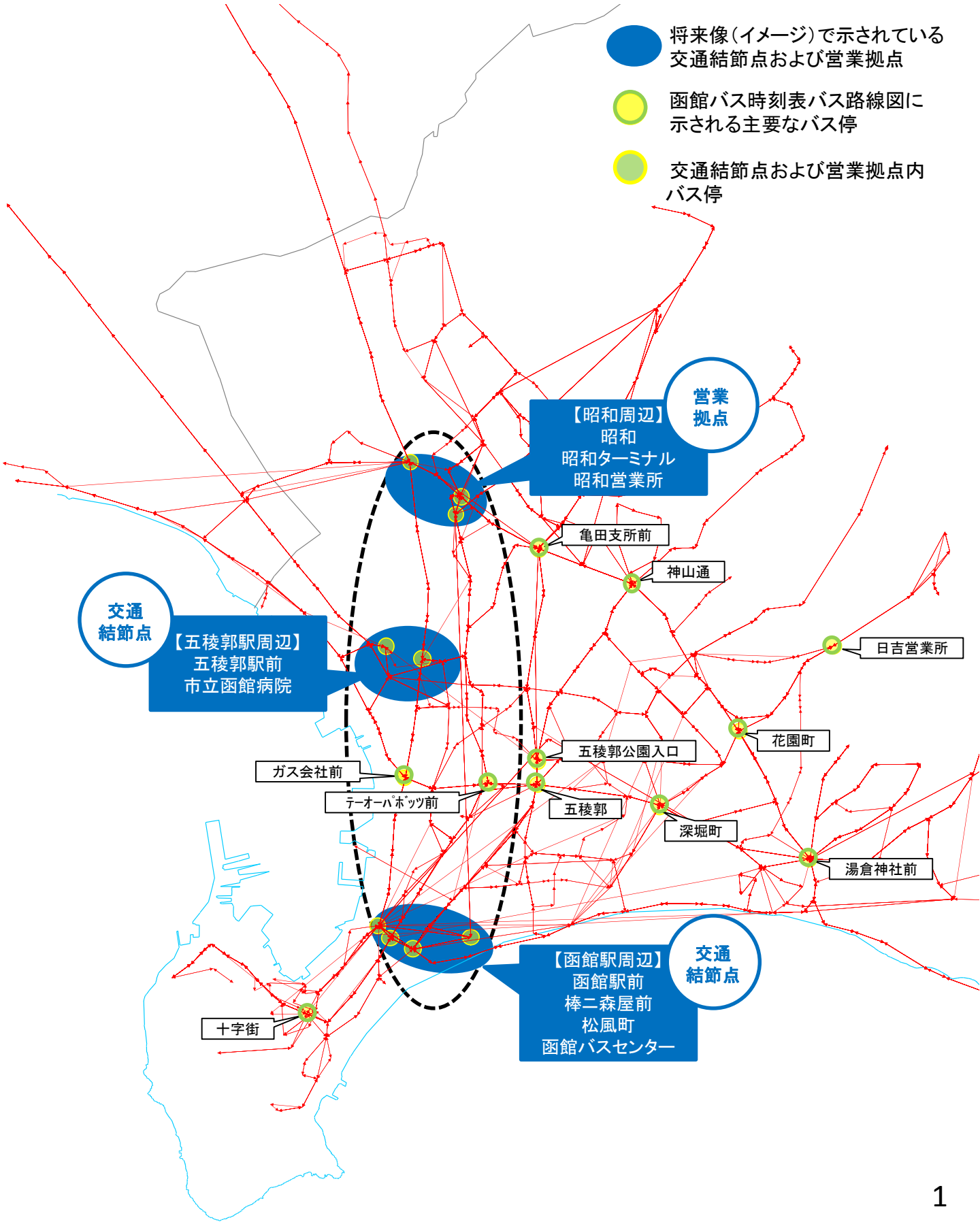
・資料－１

旧函館市地域の公共交通路線再編案について

1　旧函館市地域の公共交通路線再編案について (R5・R227・R228方面)

（1）現況バス網

・H24/10月～H25/3月末まで1便でも運行した路線データ（函館バス提供）による市内（概ね市街化区域内）のバス路線。



(2)対象路線の絞り込み

・対象方面にある以下の2交通結節点，1営業拠点(以下拠点)に関連する路線とし，抽出については多くの路線が重複する「**拠点間①⇔②**」を当該方面での抽出路線とした。

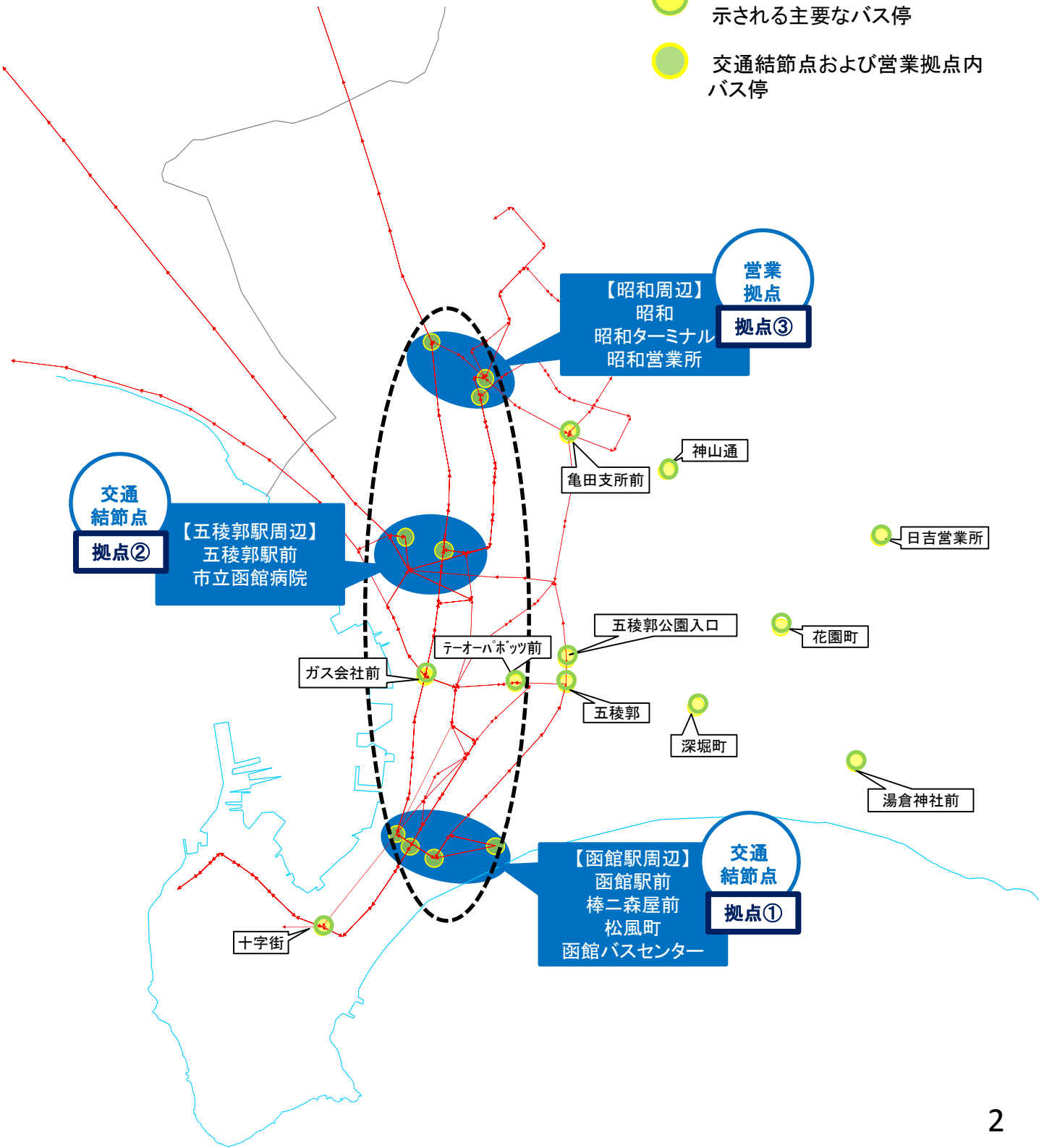
■交通結節点

拠点①函館駅周辺(函館駅前・棒ニ森屋前・松風町・函館バスセンター)

拠点②五稜郭駅周辺(五稜郭駅前・市立函館病院)

■営業拠点

拠点③昭和周辺(昭和・昭和ターミナル・昭和営業所)



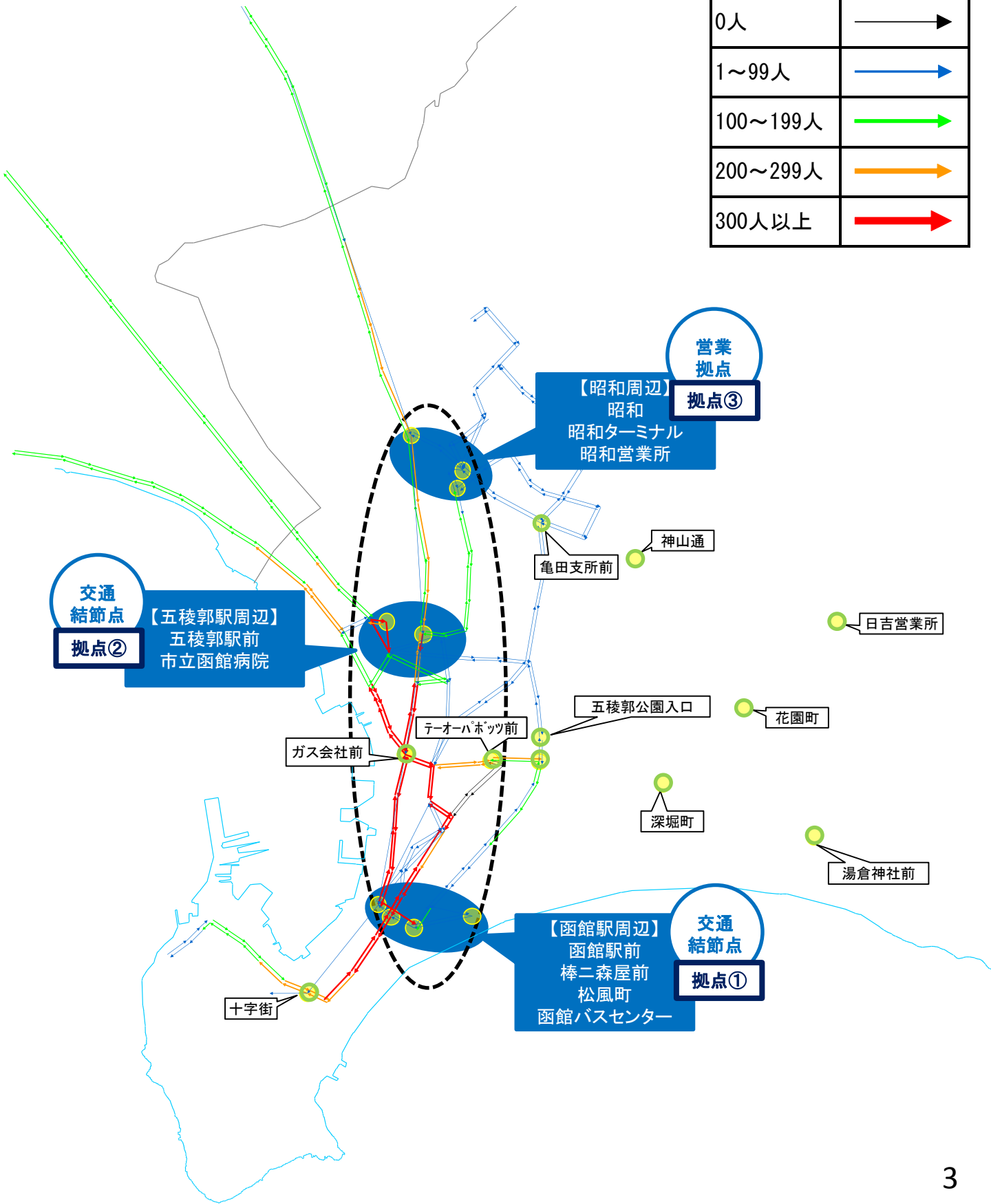
(3)利用者数の比較

・現状の利用者数を路線上にプロットし，比較した。

・日利用者数は平成24年10月の日平均値。

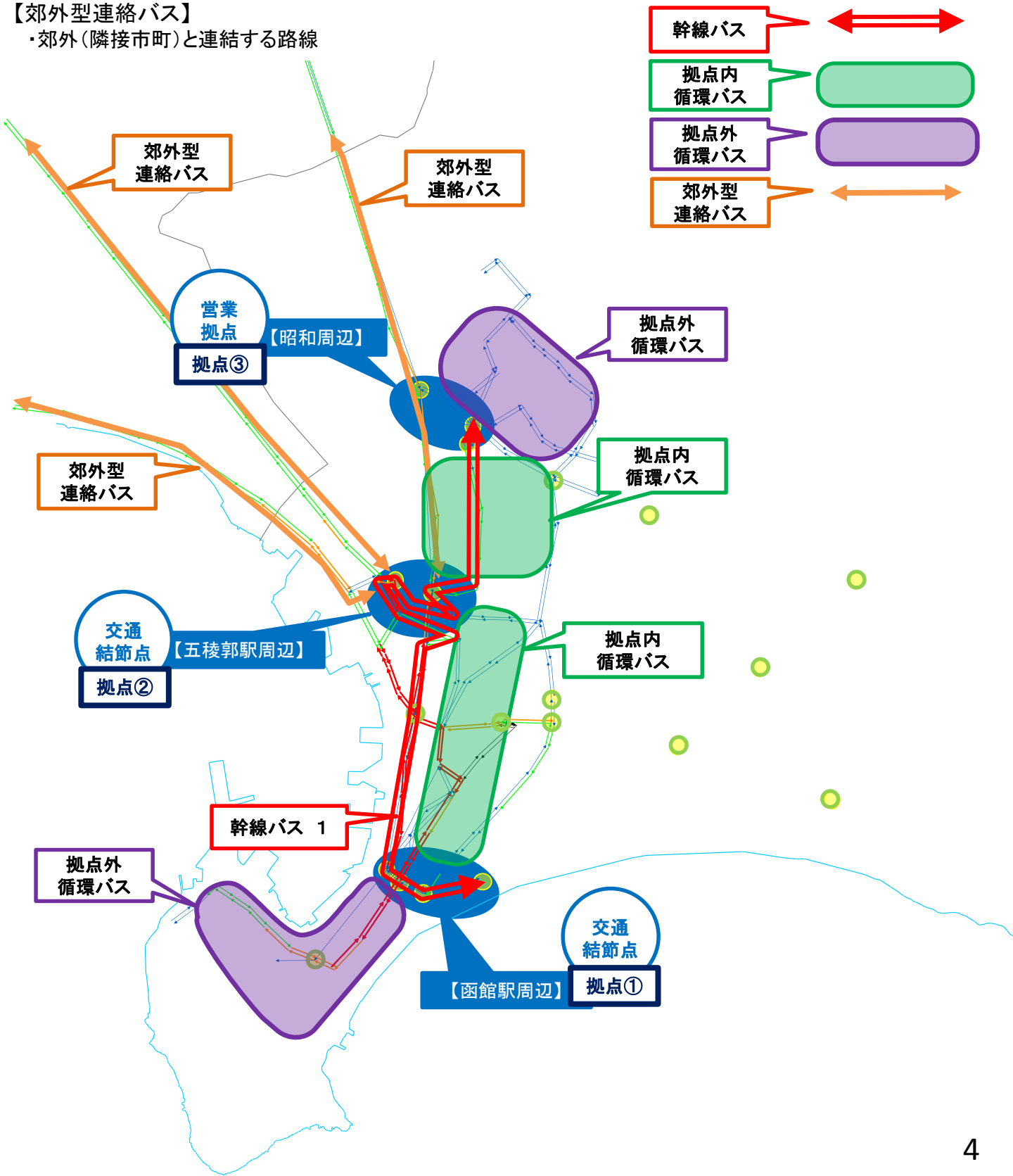
・利用者数データは函館バス(株)提供。

日利用者	
0人	
1～99人	
100～199人	
200～299人	
300人以上	



(4)路線再編案の設定

【幹線】
・需要の多い区間(区間利用が300人を超える路線を基本とする)を運行する路線
【拠点内循環バス】
・幹線区間で囲まれた拠点間・主要バス停間でアクセスする循環路線
【拠点外循環バス】
・拠点より外の地域で拠点・主要バス停に1か所程度アクセスする循環路線
【郊外型連絡バス】
・郊外(隣接市町)と連結する路線



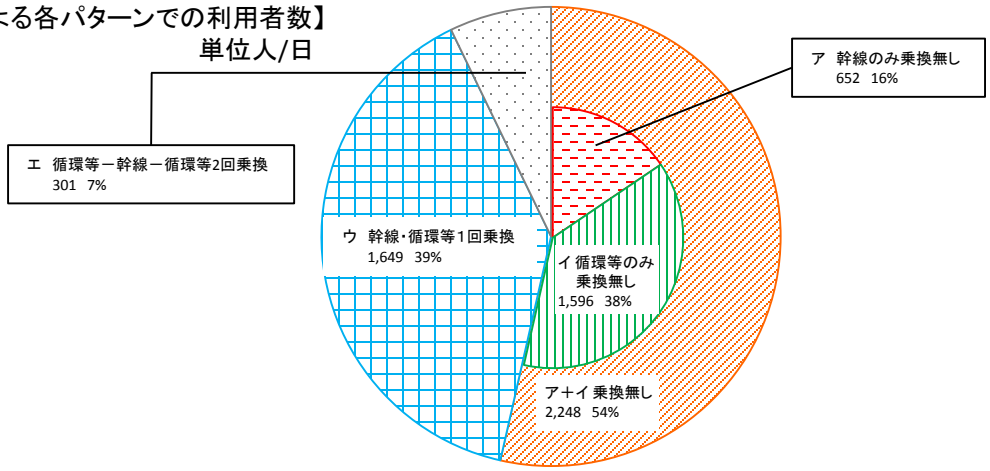
(5)現バス路線の需要と再編による各パターンの需要

・函館駅周辺～昭和周辺の区間については幹線バスが担う区間。
・その他の区間についてはそれぞれ郊外型連絡バス・循環バスが受け持つ。

通番号	系統コード	系統名	集約系統名	起点終点	日利用者	ア 幹線のみ乗換無し		イ 循環等のみ乗換無し		ウ 幹線－循環等1回乗換		エ 循環等－幹線－循環等2回乗換		ア+イ 乗換無し	
合計					4,195	652	16%	1,596	38%	1,649	39%	301	7%	2,248	54%
1	10	０１０　１昭高昭	１系統	昭和営業所前 ⇔ 船見町	466	209	45%	102	22%	155	33%	0	0%	311	67%
2	11	０１１　1-1稜高	１系統	昭和営業所前 ⇔ 船見町	2	1	26%	1	37%	1	37%	0	0%	2	63%
3	12	０１２　1-2昭高昭	－	昭和営業所前 ⇔ 船見町	0	0	100%	0	0%	0	0%	0	0%	0	100%
4	14	０１４　1-4昭高昭	１系統	昭和営業所前 ⇔ 船見町	172	75	43%	40	23%	53	31%	5	3%	115	66%
5	15	０１５　1-3昭高昭	１系統	昭和営業所前 ⇔ 船見町	241	101	42%	51	21%	82	34%	7	3%	152	63%
6	18	０１８　1高1-1稜	１系統	昭和営業所前 ⇔ 船見町	47	9	19%	4	10%	31	67%	2	5%	13	29%
7	21	０２１1-1高1-3昭	１系統	稜北高校前 ⇔ 船見町	44	18	40%	8	18%	18	40%	1	2%	26	58%
8	22	０２２　1-3高昭	１系統	船見町 ⇔ 昭和営業所前	44	12	28%	8	17%	24	54%	1	1%	20	45%
9	23	０２３　1-3昭高	１系統	昭和営業所前 ⇔ 船見町	27	6	21%	8	31%	11	42%	1	6%	14	52%
10	24	０２４　1-3高1昭	１系統	昭和営業所前 ⇔ 船見町	86	33	38%	18	21%	34	40%	1	1%	51	59%
11	26	０２６　１準西	１系統	昭和通・小笹内科医院 ⇔ 西高校前	29	4	14%	0	0%	25	86%	0	0%	4	14%
12	1001	富川会館下り	１１１系統	函館バスセンター ⇔ 富川会館前	248	15	6%	74	30%	122	49%	38	15%	89	36%
13	1002	富川会館上り	１１１系統	富川会館前 ⇔ 函館バスセンター	247	7	3%	83	34%	124	50%	33	13%	90	37%
14	1003	茂辺地下り	１０１系統	函館バスセンター ⇔ 茂辺地	38	1	3%	17	44%	18	48%	2	4%	18	48%
15	1004	茂辺地上り	１０１系統	茂辺地 ⇔ 函館バスセンター	47	1	2%	26	54%	20	43%	0	0%	27	57%
16	1005	大野駅下り	２系統	函館バスセンター ⇔ 大野駅前	27	4	14%	10	39%	11	42%	1	5%	14	53%
17	1006	大野駅上り	２系統	大野駅前 ⇔ 函館バスセンター	64	9	13%	12	19%	39	60%	5	7%	21	33%
18	1009	大野峠下	２系統系統峠下	函館バスセンター ⇔ 峠下	68	8	12%	22	32%	33	49%	5	7%	30	44%
19	1010	峠下大野	２系統系統峠下	峠下 ⇔ 函館バスセンター	37	5	13%	6	16%	24	65%	2	6%	11	29%
20	1012	五・大野駅下り	１２２系統	函館バスセンター ⇔ 大野駅前	70	9	12%	22	31%	27	39%	13	18%	31	43%
21	1013	五・大野駅上り	１２２系統	大野駅前 ⇔ 函館バスセンター	78	8	10%	11	14%	40	51%	19	24%	19	24%
22	1016	大野白川	１２３、１３２系統	函館バスセンター ⇔ 市渡本町	113	12	11%	50	45%	45	40%	5	5%	62	55%
23	1017	七飯白川	１２３、１３２系統	函館バスセンター ⇔ 吉川町	126	10	8%	62	49%	49	39%	5	4%	72	58%
24	1019	藤城上り	１０３系統	藤城 ⇔ 函館バスセンター	61	5	8%	29	47%	24	39%	3	5%	34	56%
25	1020	ななえ新病院下り	１０３系統新病院	函館バスセンター ⇔ ななえ新病院	31	3	10%	11	35%	16	52%	1	3%	14	46%
26	1022	峠下小学校下り	１０３系統峠下小	函館バスセンター ⇔ 峠下小学校前	8	0	1%	3	32%	5	62%	0	5%	3	33%
27	1023	峠下小学校上り	１０３系統峠下小	峠下小学校前 ⇔ 函館バスセンター	54	3	6%	40	74%	10	19%	1	1%	43	80%
28	1024	七飯峠下	１０３系統峠下	函館バスセンター ⇔ 峠下	52	5	10%	25	48%	21	40%	1	2%	30	58%
29	1025	峠下七飯	１０３系統峠下	峠下 ⇔ 函館バスセンター	91	8	8%	41	45%	39	43%	3	3%	49	53%
30	2000	４駅４	４系統	昭和ターミナル ⇔ 函館駅前	136	4	3%	53	39%	69	51%	10	7%	57	42%
31	2042	稜北８１	８１系統	稜北高校前 ⇔ 富川会館前	50	1	2%	15	30%	19	38%	14	29%	16	33%
32	2043	８１昭和タ	８１系統	富川会館前 ⇔ 昭和ターミナル	293	17	6%	105	36%	106	36%	65	22%	122	42%
33	2127	９４昭→駅→昭	９４系統	昭和営業所前 ⇔ 函館駅前	72	19	27%	12	16%	31	42%	11	15%	31	43%
34	4001	大沼鹿部／川汲接	大沼鹿部線	函館バスセンター ⇔ 鹿部出張所	18	1	5%	8	47%	8	46%	0	2%	9	51%
35	4002	大沼鹿部	大沼鹿部線	函館バスセンター ⇔ 鹿部出張所	41	1	2%	22	53%	18	43%	1	2%	23	54%
36	4004	七飯函館	大沼鹿部線	鹿部出張所 ⇔ 函館バスセンター	42	3	6%	23	55%	15	37%	1	2%	26	61%
37	5000	函館→長万／接北	函館長万部線	函館バスセンター ⇔ 町営住宅前	60	2	3%	38	64%	19	32%	0	1%	40	67%
38	5001	函館→長万部	函館長万部線	函館バスセンター ⇔ 長万部ターミナル	74	1	1%	50	67%	23	31%	1	1%	51	68%
39	5002	長万部→函館	函館長万部線	長万部ターミナル ⇔ 函館バスセンター	140	3	2%	103	74%	32	23%	2	2%	106	76%
40	5007	三岱入口→函館	森急行	三岱入口 ⇔ 函館バスセンター	19	0	2%	10	55%	8	43%	0	0%	10	57%
41	5008	函館→森駅前	函館→森駅前	函館バスセンター ⇔ 森駅前	14	0	3%	6	41%	8	55%	0	0%	6	44%
42	6000	函館→小谷／接	函館小谷石線	函館バスセンター ⇔ 小谷石	15	0	3%	9	60%	2	13%	4	24%	9	63%
43	6001	函→こも小谷／接	函館小谷石線	函館バスセンター ⇔ 小谷石	49	1	2%	32	66%	7	15%	9	17%	33	68%
44	6002	小谷石→函館	函館小谷石線	小谷石 ⇔ 函館バスセンター	41	0	0%	19	46%	11	26%	11	28%	19	46%
45	6013	小谷石→こも函館	函館小谷石線	小谷石 ⇔ 函館バスセンター	44	1	3%	24	54%	12	26%	8	17%	25	56%
46	7000	松前→函館	松前号	松前ターミナル ⇔ 函館バスセンター	47	0	0%	43	92%	4	8%	0	0%	43	92%
47	7002	原口→函館	松前号	原口 ⇔ 函館バスセンター	42	0	0%	40	94%	2	6%	0	0%	40	94%
48	7003	函→松前／接	松前号	函館バスセンター ⇔ 松前ターミナル	54	0	0%	44	81%	10	19%	0	0%	44	81%
49	7104	函→松前	松前号	函館バスセンター ⇔ 松前ターミナル	1	0	0%	0	45%	1	55%	0	0%	0	45%
50	8001	亀田支所函館	函館江差線	江差ターミナル ⇔ 函館バスセンター	37	0	0%	25	69%	11	31%	0	0%	25	69%
51	8002	江差→函館	函館江差線	江差ターミナル ⇔ 函館バスセンター	109	9	8%	41	38%	57	52%	2	2%	50	46%
52	8003	函館→江差／熊接	函館江差線	函館バスセンター ⇔ 江差ターミナル	65	2	3%	30	46%	32	49%	2	3%	32	49%
53	8004	函館→江差／大接	函館江差線	函館バスセンター ⇔ 江差ターミナル	22	2	7%	12	55%	8	35%	1	3%	14	62%
54	8005	函館→江差	函館江差線	函館バスセンター ⇔ 江差ターミナル	40	4	10%	16	40%	19	48%	1	3%	20	50%
55	8006	函→江／富里大成	函館江差線	函館バスセンター ⇔ 江差ターミナル	1	0	0%	0	43%	1	53%	0	3%	0	43%
56	8072	函館→江差／函接	－	函館バスセンター ⇔ 江差ターミナル	11	0	1%	5	49%	2	21%	3	29%	5	50%
57	8078	函館→江差／大接	－	函館バスセンター ⇔ 江差ターミナル	0	0	0%	0	0%	0	100%	0	0%	0	0%
58	9030	瀬棚号函館行	瀬棚号	上三本杉 ⇔ 函館バスセンター	20	0	0%	17	84%	3	16%	0	0%	17	84%
59	9031	瀬棚号上三本杉行	瀬棚号	函館バスセンター ⇔ 上三本杉	14	0	0%	8	54%	6	46%	0	0%	8	54%
60	9034	瀬棚号上三本日曜	瀬棚号	函館バスセンター ⇔ 上三本杉	6	0	0%	2	27%	4	73%	0	0%	2	27%

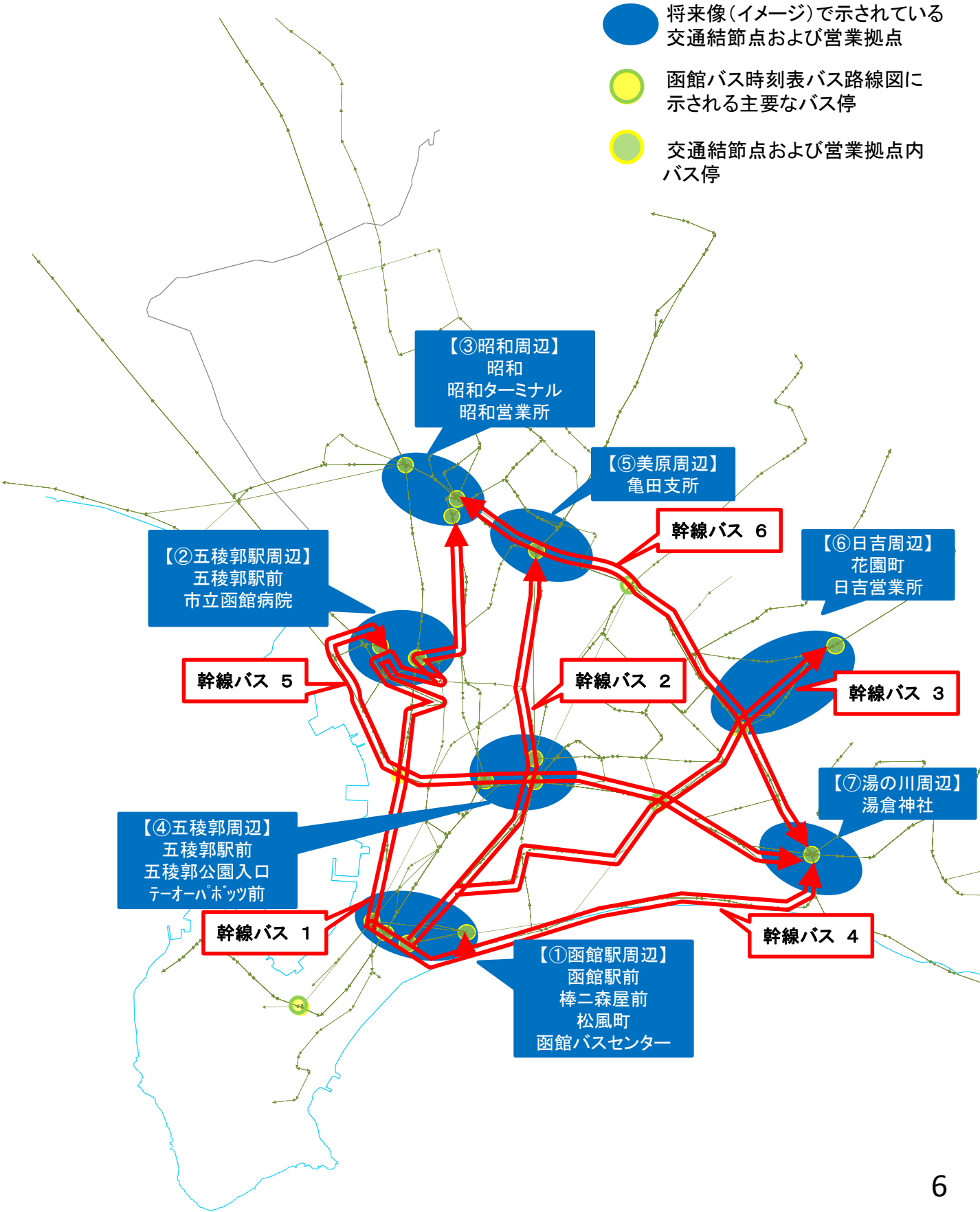
※小数点以下四捨五入等により合計値が合わない場合があります。

【バス再編による各パターンでの利用者数】
単位人/日



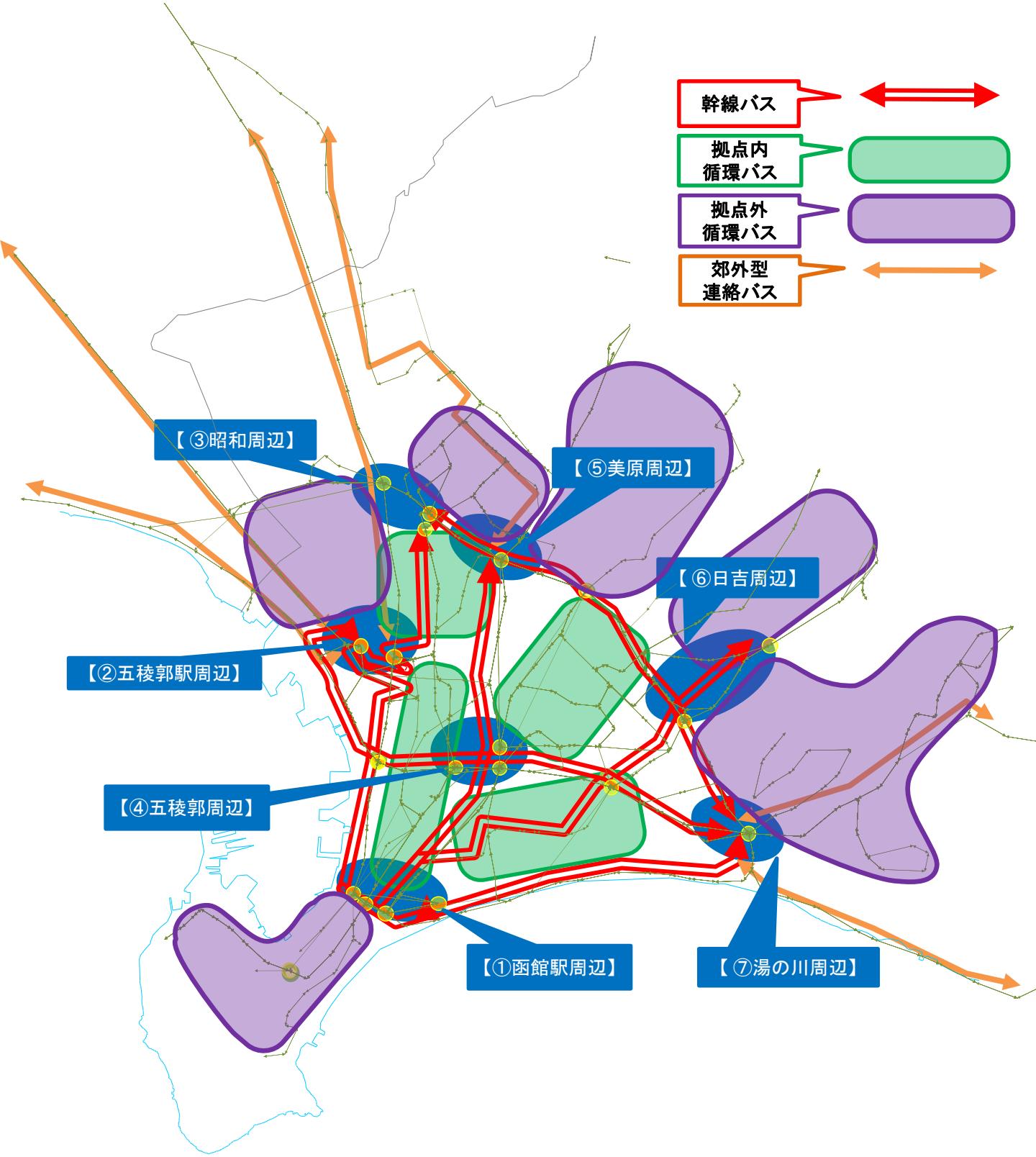
（1）拠点間による幹線の設定

・幹線バス1の設定と同様の手法を用い，幹線バス2～6を設定した。



（2）路線の全体構成

・幹線バス1の設定と同様の手法を用い，幹線バス2～6，拠点内循環バス，拠点外循環バス，郊外型連絡バスを設定した。



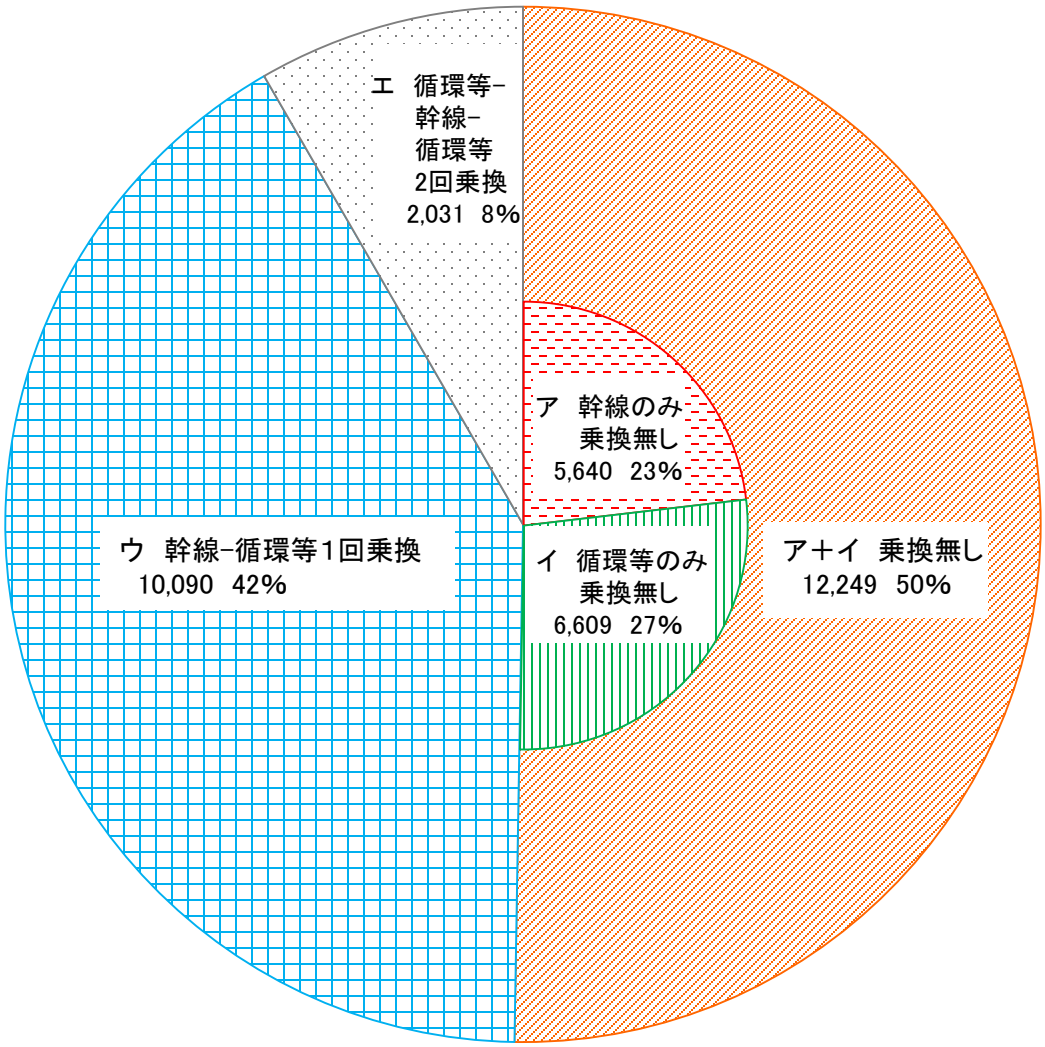
（3）現バス路線の需要と再編による各パターンの需要

・幹線バス1と同様の手法を用い，幹線バス2～6を予測した。
・各拠点の区間については幹線バスが担う区間。
・その他の区間についてはそれぞれ郊外型連絡バス・循環バスが受け持つ。

再編幹線路線	主な通過地域	日利用者	ア 幹線のみ 乗換無し	イ 循環等のみ 乗換無し	ウ 幹線－循環等 1回乗換	エ 循環等－幹線－循環等 2回乗換	ア+イ 乗換無し
幹線１	①駅周辺 ⇔ ②五稜郭駅周辺 ⇔ ③昭和周辺	4,195	652 16%	1,596 38%	1,649 39%	301 7%	2,248 54%
幹線２	①駅周辺 ⇔ ④五稜郭周辺 ⇔ ⑤美原周辺	8,965	1,785 20%	2,398 27%	4,244 47%	542 6%	4,183 47%
幹線３	①駅周辺 ⇔ － ⇔ ⑥日吉周辺	1,675	781 47%	432 26%	352 21%	108 6%	1,213 72%
幹線４	①駅周辺 ⇔ － ⇔ ⑦湯ノ川周辺	1,992	433 22%	549 28%	596 30%	411 21%	982 49%
幹線５	②五稜郭駅周辺 ⇔ ②五稜郭駅周辺 ⇔ ⑦湯ノ川周辺	3,292	831 25%	488 15%	1,735 53%	236 7%	1,319 40%
幹線６	③昭和周辺 ⇔ ④五稜郭周辺 ⇔ ⑦湯ノ川周辺	4,255	1,158 27%	1,146 27%	1,514 36%	433 10%	2,304 54%
合計		24,374	5,640 23%	6,609 27%	10,090 42%	2,031 8%	12,249 50%

※小数点以下四捨五入等により合計値が合わない場合があります。

【バス再編による各パターンでの利用者数】　単位人/日



・資料－２

東部４地域の公共交通路線再編案について

（参考）東部４地域の公共交通の現状

東部４地域の函館バス乗車人数

東部４地域の公共交通路線再編案について

１　現状

（１）路線バス

・東部４地域では，下海岸方面（恵山御崎方面）で 41 便/日，南茅部方面（鹿部・南茅部・椴法華方面）で 34 便/日が運行されており，合計で１日 75 便となっている。

・東部４地域の路線は全てが補助路線となっており，国と北海道の合計で，約 4,736 万円，函館市単独で，約 521 万円（平成 26 年度予定）の補助を行って維持している。

・平均乗車密度は，川汲鹿部線や鹿部海岸線では 5.0 程度と低くなっており，下海岸線では 0.8 と著しく低くなっている。

・乗車料金は，高額な地域では 1,630 円（恵山御崎から函館バスセンター）となるなど，料金についての不満が，潜在的に有している。

【地域間幹線系統（国・道との協調補助）】　※平成 27 年度～平成 29 年度

系統名	起点	終点	キロ程（km）	平均乗車密度	運行回数	経常欠損（千円）	補助対象経費（千円）
下海岸線①	ﾊﾞｽｾﾝﾀｰ	釜谷	22.5	5.0	3.9	3,503	3,503
下海岸線②	ﾊﾞｽｾﾝﾀｰ	恵山御崎	52.4	5.2	7.4	19,281	19,281
川汲鹿部線①	ﾊﾞｽｾﾝﾀｰ	椴法華支所前	53.7	5.0	3.0	8,618	8,618
川汲鹿部線②	ﾊﾞｽｾﾝﾀｰ	鹿部出張所	51.6	5.3	3.0	7,628	7,628
下海岸線③	ﾊﾞｽｾﾝﾀｰ	下原木	33.6	5.0	3.1	4,982	4,982
鹿部海岸線	鹿部出張所	古部	34.9	5.0	3.1	3,345	3,345
						47,357	47,357

【函館市生活交通路線（市単独補助）】　※平成 26 年度～平成 28 年度

路線名	起　点	終　点	キロ程（km）	平均乗車密度	運行回数	経常欠損（千円）	補助対象経費（千円）
下海岸線②	日ノ浜団地	椴法華支所前	7.5	2.0	4.4	3,570	3,021
鹿部海岸線①	鹿部出張所	南茅部支所前	19.2	5.0	0.7	207	207
鹿部海岸線②	南茅部支所前	古部	15.7	2.5	0.9	1,566	1,412
下海岸線③	日ノ浜団地	恵山御崎	6.3	0.8	0.9	970	569
						6,313	5,209

（２）学校等送迎バス

・地域の園児・児童・生徒の通園・通学を目的にバスを運行している。

・運行のためには，合計で 4,384 万円の予算を要している。

・利用者は無料で乗車できる。

・運行経路は，路線バスの経路とほぼ，同一である。

・市所有バスは，老朽化が課題となっている。

名称	戸井スクールバス	恵山スクールバス	南茅部地域通学バス	函館市つつじ保育園児送迎バス
事業目的	園児･児童･生徒の通園･通学			
運行形態	委託 函館バス㈱	委託 函館バス㈱	委託 函館バス㈱	委託 函館タクシー㈱
平成 26 年度予算額	運行委託費 9,301 千円 車両整備費他 1,700 千円	運行委託費 14,256 千円 車両整備費他 2,192 千円	運行委託費 7,232 千円	運行委託費 9,164 千円
対象者	戸井幼稚園，戸井西小学校，戸井高校の通園･通学	えさん小学校，恵山中学校，戸井高校の通学	磨光小学校，尾札部中学校の通学	つつじ保育園の通園
事業開始年度	平成 10 年度	平成 17 年度	平成 23 年度	平成 22 年度
バスの所有	市（2 台）	市（3 台）	函館バス㈱	㈱トヨタレンタリース
バス車輌年式	①平成 10 年 ②平成 10 年	①平成 6 年 ②平成 5 年 ③平成 3 年	－	－
バス乗車定員	①47 人 ②47 人	①75 人 ②42 人 ③42 人	－	－
運行回数 （平成 23 年度）	①232 日/年 ②227 日/年	①233 日/年 ②215 日/年 ③215 日/年	214 日/年	292 日/年
乗車人数 （平成 23 年度）	①12,247 人/年 53 人/日 ②15,491 人/年 68 人/日	①23, 794 人/年 102 人/日 ②22,888 人/年 104 人/日 ③10,849 人/年 49 人/日	18,544 人/年 87 人/日	11,470 人/年 39 人/日
1人当たりの経費	396 円/人	285 円/人	389 円/人	798 円/人

（３）病院バス

・恵山および南茅部病院への通院のためにバスを運行している。

・同支所管内の住民だけが利用でき，他の支所内では運行していない。

・利用者は無料で乗車できる。

・市所有バスは，老朽化が課題となっている。

・乗車人員は，増加傾向となっている。

名称	恵山病院送迎バス	南茅部病院送迎バス
事業目的	恵山病院の通院	南茅部病院の通院
運行形態	委託 委託先：函館バス㈱	委託 委託先：函館バス㈱
平成 26 年度 予算額	運行委託費 6,001 千円 車両整備費他 300 千円	地域福祉バスの予算で対応
対象者	恵山支所管内の市民	南茅部支所管内の市民
事業開始年度	昭和 36 年度	平成 20 年度
バスの所有	市（1 台）	市（地域福祉バスを利用）
バス車輌年式	平成 7 年	①平成元年 ②平成 8 年
バス乗車定員	53 人	①47 人 ②48 人
運行回数 （平成 25 年度）	245 日/365 日	①44 日/365 日 ②7 日/365 日
乗車人数 （平成 25 年度）	8,238 人/年 33 人/日 ※平成 23 年度 5,976 人/年	①1,049 人/年 24 人/日 ②163 人/年 23 人/日 ※平成 23 年度 1,065 人/年
備考	・毎週月曜日から金曜日まで運行	・毎週火曜日運行
1人当たりの経費	764 円/人	1,719 円/人 ※地域福祉バスの予算額から地域福祉バスおよび病院送迎バス乗車人数の合計値で除した。

（４）地域福祉バス

・東部４地域だけの制度として，地域住民の福祉活動や社会活動への参加促進等のためのバスが設けられている。

・利用者は無料で乗車できる。

・市所有バスは，老朽化が課題となっている。

・定期的な温泉や保養センターへの送迎のほか，学校の研修・遠足・校外学習に利用されている。南茅部では，病院バスとして，週 1 回のみ地域福祉バスが使用されている。

・1,883 万円を超える予算が措置されている。

・支所間のバスの貸し借りなど，弾力的な運用はされていない。

・乗車人員は減少傾向となっている。

名称	戸井 地域福祉バス	恵山 地域福祉バス	椴法華 地域福祉バス	南茅部 地域福祉バス
事業目的	地域住民の福祉活動や社会活動への参加促進等を図り，福祉向上と地域振興に資することを目的とする。			
運行形態	委託　函館バス㈱	委託　函館バス㈱	委託　函館バス㈱	委託　函館バス㈱
平成 26 年度 予算額	運行委託費 3,942 千円	運行委託費 4,091 千円 車両整備費他 1,072 千円	運行委託費 1,300 千円 車両整備費他 809 千円	運行委託費 4,700 千円 車両整備費他 2,920 千円
対象者	・当該地域の福祉関係団体 ・本市が支援する当該地域の公共的団体等 ・本市が参画し組織する当該地域の実行委員会 ・その他市長が公益上必要と認めるもの ・本市が主催する事業等（公務を含む）			
バスの所有	函館バス(株)	市（1 台）	市（1 台）	市（2 台）
バス車輌年式	－	平成 5 年	平成 15 年	①平成元年 ②平成 8 年
バス乗車定員	大型：44 人 中型：26 人	42 人	42 人	①47 人 ②48 人
運行回数 （平成 25 年度）	86 回/年	137 回/年	49 回/年	①69 回/年 ②95 回/年
乗車人数 （平成 25 年度）	1,960 人/年 ※平成 23 年度 2,408 人/年	4,325 人/年 ※平成 23 年度 5,162 人/年	1,096 人/年 ※平成 23 年度 1,036 人/年	①1,426 人/年 ②1,794 人/年 ※平成 23 年度 3,530 人/年
1人当たりの経費	2,011 円/人	1,193 円/人	1,924 円/人	1,719 円/人 ※病院送迎バスと同様に計算

（５）現状のまとめ

・路線バスは，補助金で運行しているにも係わらず，利用者は低調となっていて，改善傾向が見られない。また，利用者の数と比較しても便数が多く，効率的な運行がなされていない。

・一方で，市が運行している学校等送迎バスや病院バスは，利用料が無料であること，通院・通学など目的地に必ず行く必要があることから，利用者は多い。しかし，路線バスと同一な道路を運行しているため，非効率である。

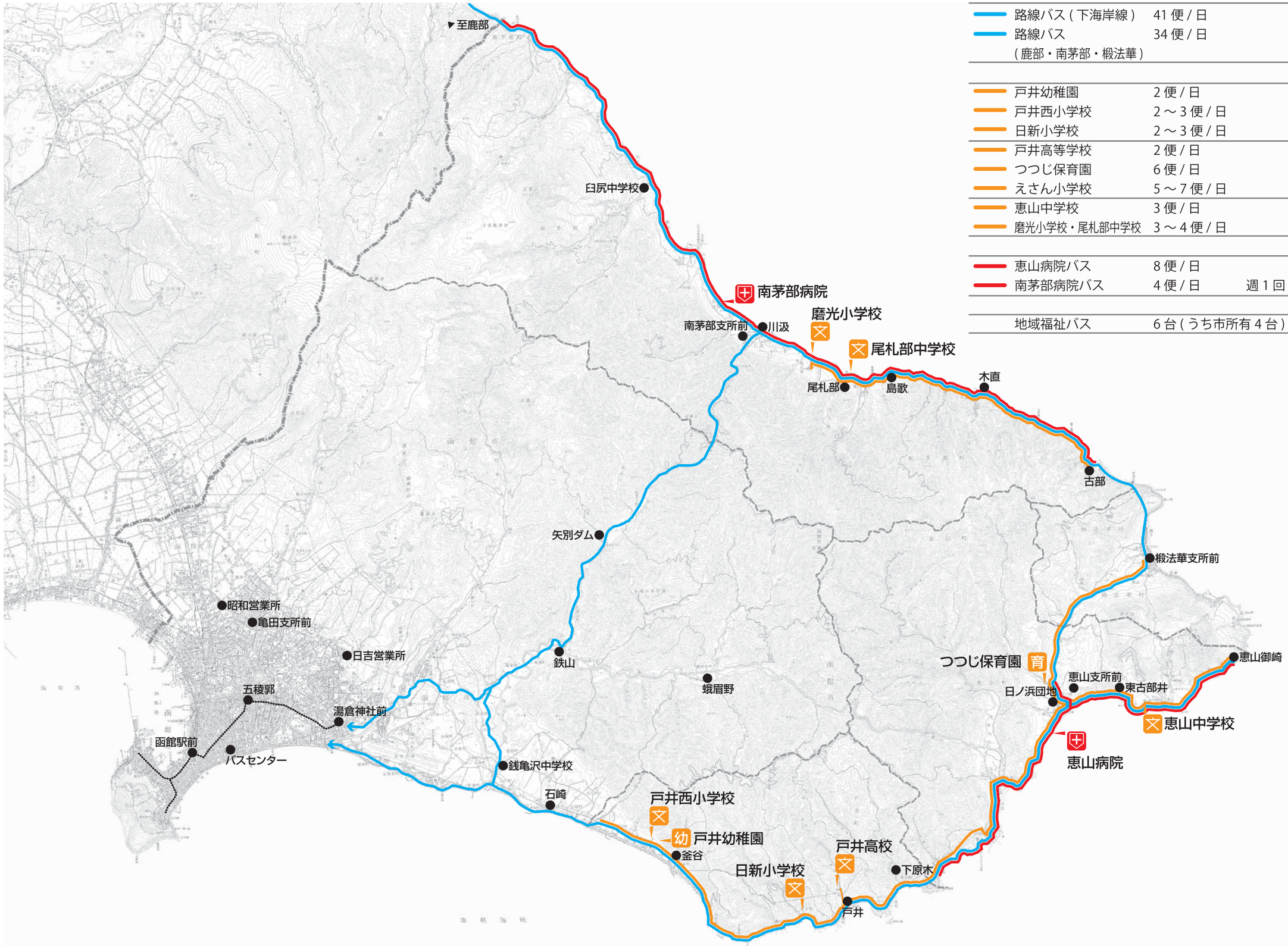
・地域福祉バスは，地域の特殊性や合併前の制度であったこと，東部４地域には無かった高齢者の交通料金助成の代替バスであったことなどから，現在まで存続されてきた。また，制度目的は「地域住民の福祉活動や社会活動への参加促進等を図り，福祉向上と地域振興に資すること」となっており，主な利用実態は，学校行事や定期的な温泉や保養センターへの送迎などとなっている。

・平成 26 年 4 月 1 日に改正された「輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドライン」により，貸切バス委託料が，現行の価格から，約 1.5～2.0 倍値上がりすることとなり，各種契約バスの予算増大が予想される。

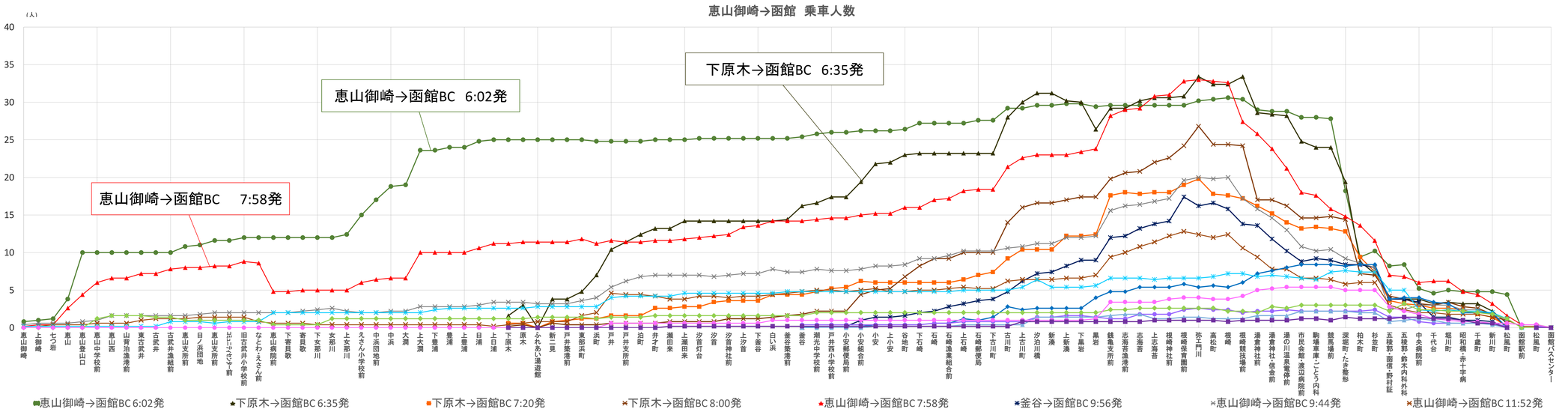
・人口減少が著しい，東部４地域の実情から考察すると，現状のままでは，維持することが困難であり，効率的で持続可能な交通体系の整備が急務である。

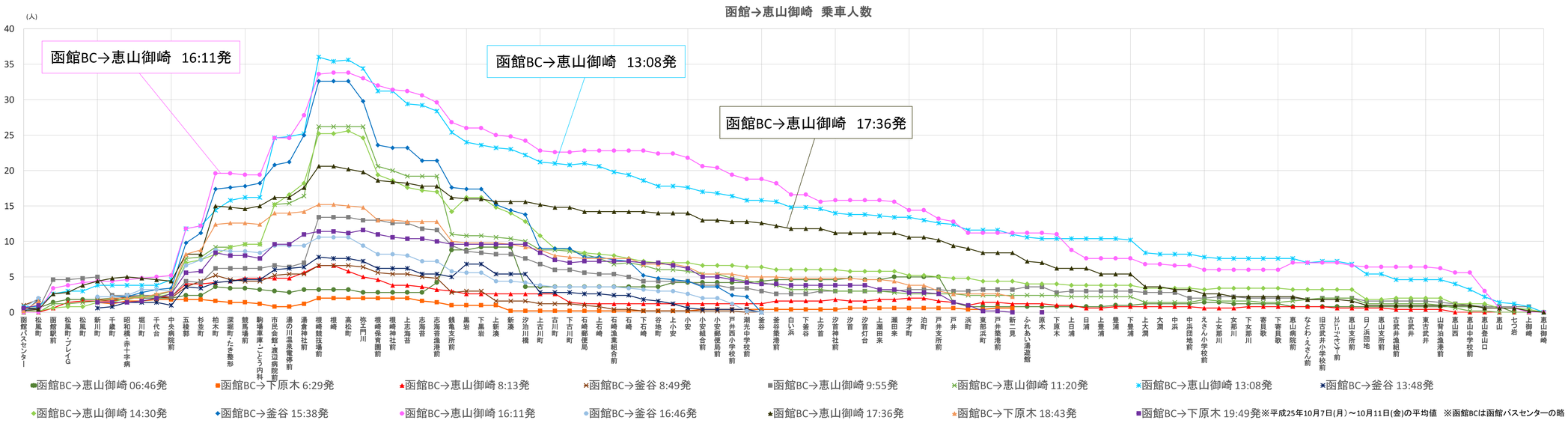
東部４地域の公共交通の現状

20140820

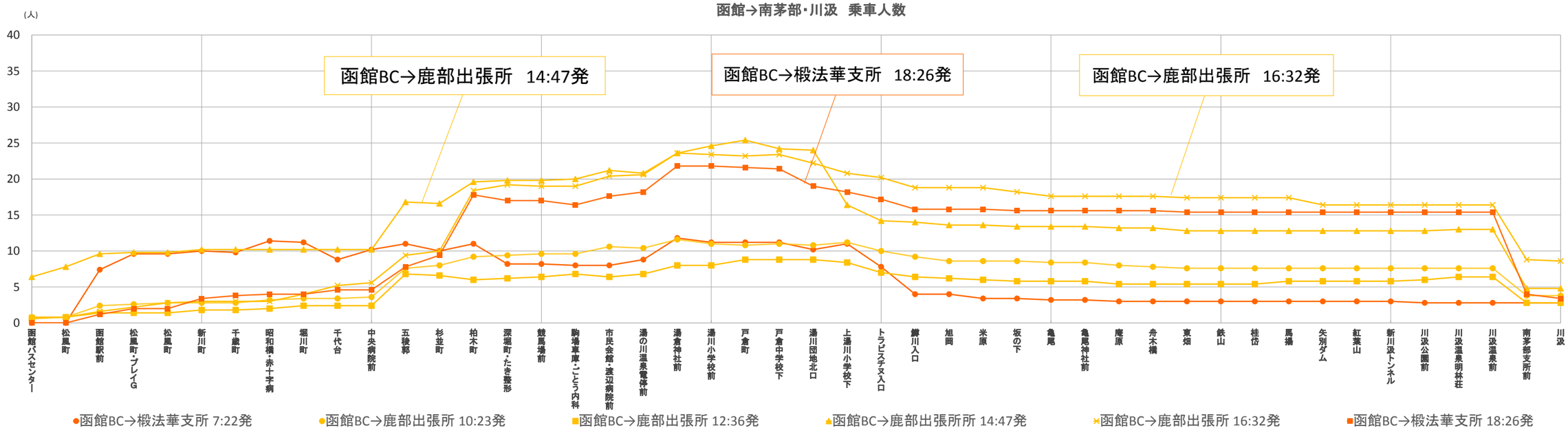


東部4地域の函館バス乗車人数



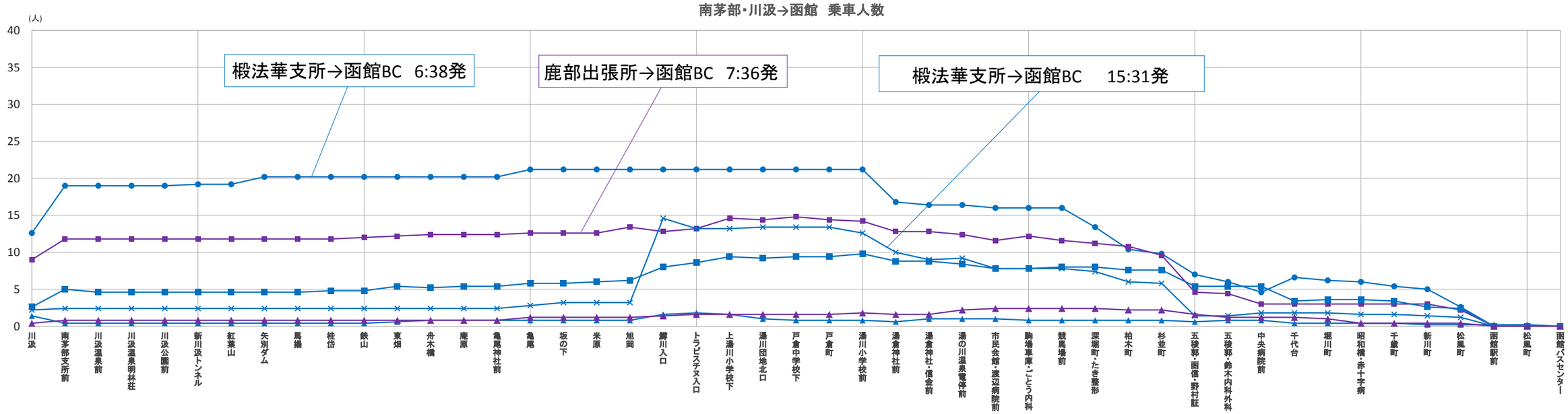


函館→南茅部・川汲　乗車人数



●函館BC→椴法華支所 7:22発　●函館BC→鹿部出張所 10:23発　■函館BC→鹿部出張所 12:36発　▲函館BC→鹿部出張所所 14:47発　×函館BC→鹿部出張所 16:32発　■函館BC→椴法華支所 18:26発

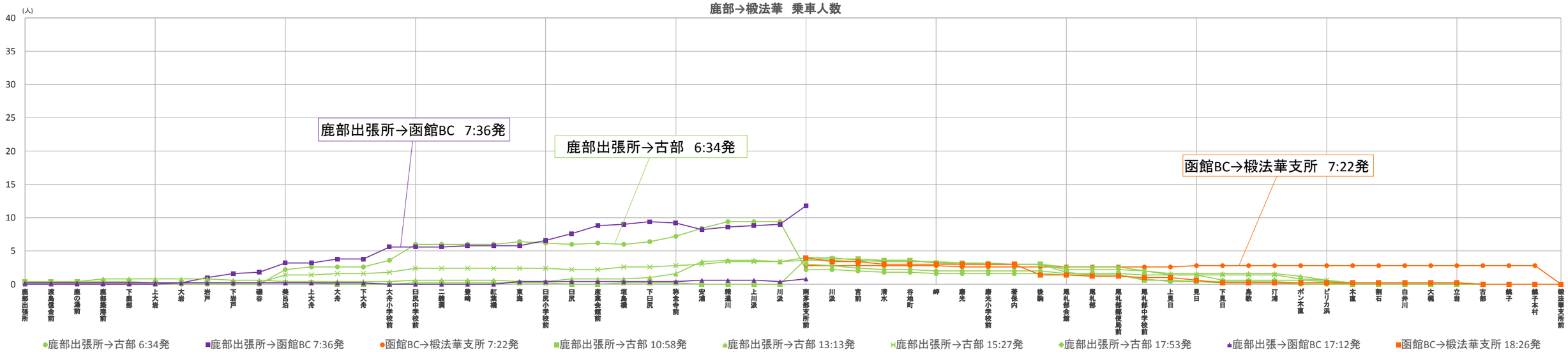
南茅部・川汲→函館　乗車人数



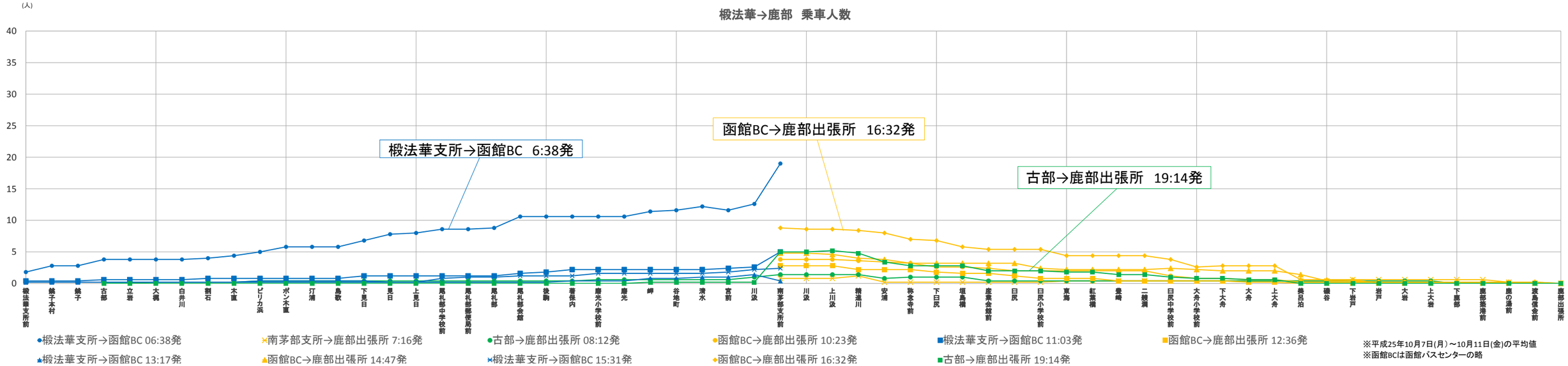
●椴法華支所→函館BC 6:38発　■鹿部出張所→函館BC 7:36発　■椴法華支所→函館BC 11:03発　▲椴法華支所→函館BC 13:17発　×椴法華支所→函館BC 15:31発　▲鹿部出張所→函館BC 17:12発

※平成25年10月7日(月)～10月11日(金)の平均値

鹿部→椴法華　乗車人数



椴法華→鹿部　乗車人数



※平成25年10月7日(月)～10月11日(金)の平均値
※函館BCは函館バスセンターの略

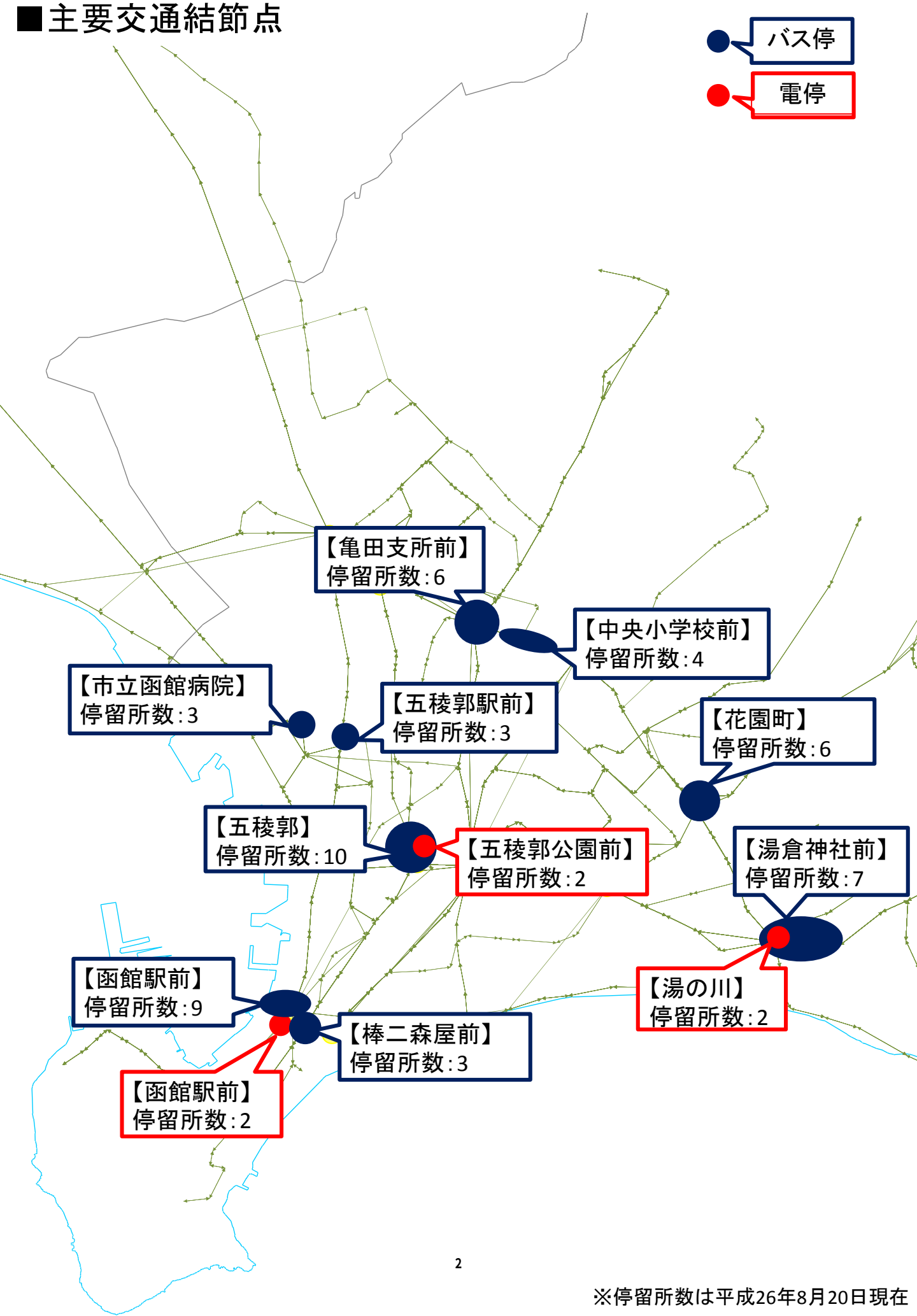
・資料－３

交通結節点整備案について

函館市地域公共交通総合連携計画　１２ページ抜粋

■ 交通結節機能の強化	
施策の背景とねらい	▽函館駅前に向かってバス路線が集中し，路線の重複や競合などが見られ，非効率な運行となっていることから，他の交通機関との連携により，効率的なバス路線網への再編が必要である。 ▽バス路線は一本一本が長大路線となっており，定時性の確保が難しい状況となっている。 ▽棒二森屋前・五稜郭・亀田支所前・湯倉神社前など，同一名のバス停が複数存在し，わかりづらい環境となっている。
今後の取り組み	**【交通結節点の整備】** ▽路線バスや市電，ＪＲ，タクシーなどの多様な交通機関が結節する駅や，商業施設，医療機関等が集積する地域拠点などに，交通機関相互の乗り継ぎ利便性が向上するような「交通結節点」を整備し，交通ネットワーク全体としての効率化・円滑化を図る。 ▽設置場所の選定や整備規模の検討，道路環境や道路交通への影響分析などについて，必要な調査を実施する。 ▽棒二森屋前・五稜郭・亀田支所前・湯倉神社前など，同一名で複数存在するバス停の集約化を図る。 新潟県庁前の複数設置されたバス停
期待される効果	▽交通機関相互の乗り換えがスムーズになるほか，交通手段の選択の幅が広がり，公共交通が利用しやすくなる。 ▽交通結節点に人が集まることで，地域の活性化につながる。
課題・留意点等	▽新たな施設整備を行う場合には，整備手法や用地確保や費用負担などについて，十分な調査・検証を行う必要がある。 ▽バス路線網の再編と連動した最適な設置場所を選定すること。 ▽設置場所の選定にあたっては，既存の公共施設，医療施設，商業施設等の活用についても検討することが重要である。
補助制度	補助金名：地域公共交通確保維持改善事業費補助金（国） 地域公共交通バリア解消促進等事業（ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ化設備等整備事業） 補 助 率：１／３
実施主体	交通事業者，行政

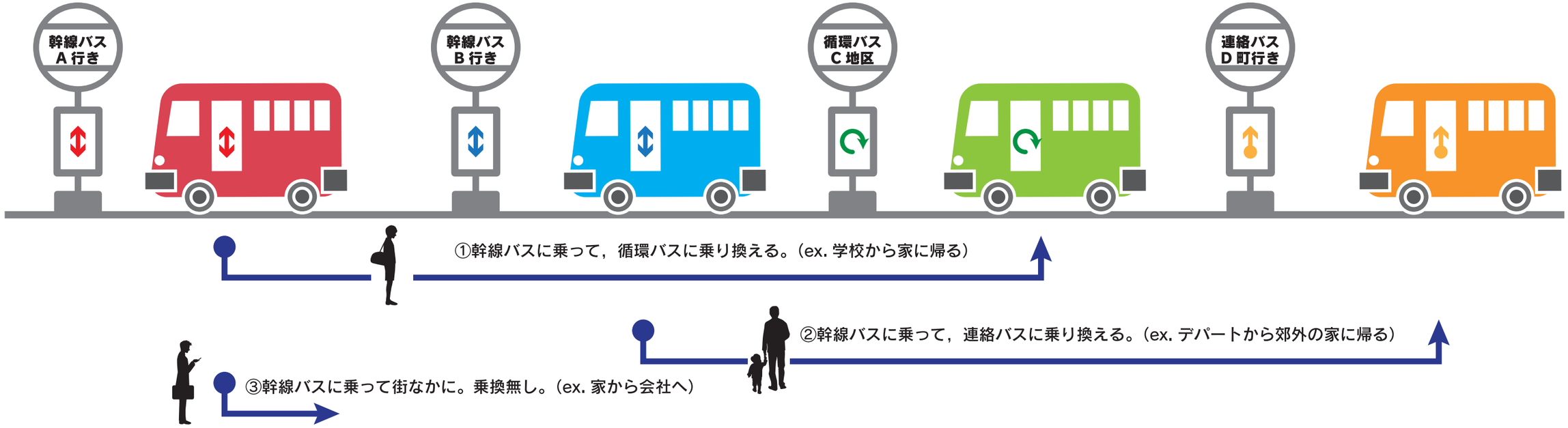
■主要交通結節点



※停留所数は平成26年8月20日現在

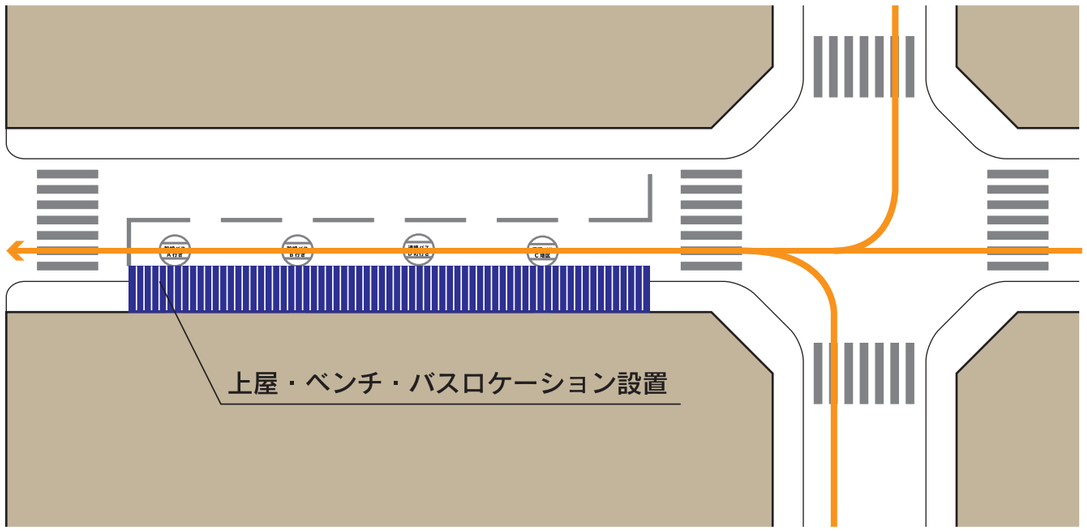
交通結節点のイメージ図

1　乗換のイメージ



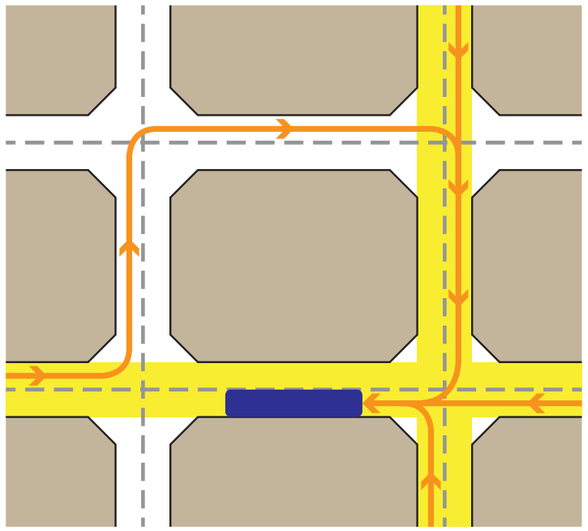
2　結節点の整備イメージ

・道路上に複数のバス停を設置。
・上屋やベンチを設け，利便性を確保。
・バスロケーションの端末を設置し，運行状況をリアルタイムで発信。
・路線バスの運行終了後は，タクシープールとしての利用も可能。

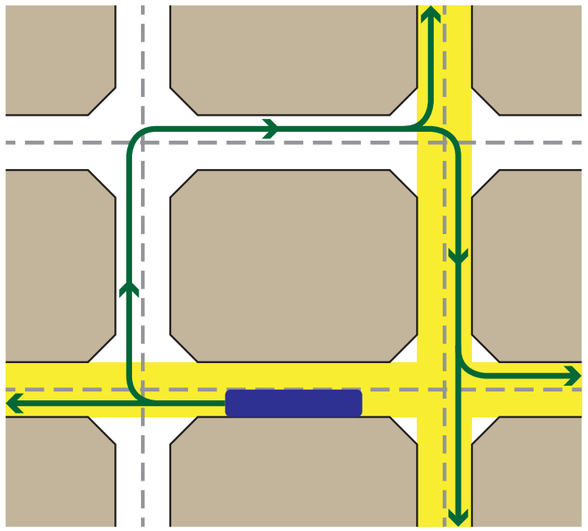


3　バスの運行ルート

・既存の道路を利用し，結節点に進入する。



○結節点への進入ルート



○結節点からの発進ルート